

問 タウンミーティングの実施回数と、質問方法である自由発言と事前通告制の良し悪しについて

答 17年度は、会場での自由発言により、11地区を2回ずつ22回開催しました。アンケートの中で同様の重複意見が多い・詳しい担当部門の回答も期待していた・質疑時間を持って余す会場があった等の意見が多くあり、18年度から少し内容を変更し、事前通告制として、11地区を1回ずつ、11回を開催しております。

今後の開催方法の1つとして、8地区の内、白羽・御前崎については、2つに分けて開催する。開催時間を少し延ばし、事前通告制と自由発言制を取り入れる方法、4年に1度くらいはテーマを大きく3つから4つに絞って市民会館と文化会館のホールで自由発言での開催など、マンネリ化を解消し魅力あるものにしていきたいと考えています。



長嶋雄一 議員

問 市民税の未納、不納欠損について説明を

答 現年度と滞納繰越分を合わせて、未納額は200万円以上が1名、100万円以上200万円未満が5名、50万円以上100万円未満が19名、10万円以上50万円未満が約230名、10万円未満が約1,570名で、不納欠損額は、50万円以上が2名、10万円以上50万円未満が10名、全部では238名でした。

税制改正で支払いが大変となったとの相談が増えました。

問 合併支援交付金について合計額と残金、使途は

答 国庫3億円、県5億円で残金は6,500万円です。使途は各種計画策定業務や旧両町間の道路事業等でした。支援金は全て20年度で終了です。

問 旧御前崎町では職員が皆で清掃したが、改善すべきと市民から指摘された。建物清掃業務について市全体で支払額は

答 1,100万円でした。

問 賦課徴収費の償還金利率及び割引料は

答 16年度では153件で金額は1,452万円、17年125件2,155万円、18年度は124件1,010万円でした。過誤納還付金は税の修正や更正で納め過ぎの場合に還付するものです。

曾根 宏 議員

問 水質汚濁の監視とその成果、悪臭苦情に対する指導について

答 河川等の水質汚濁の監視とその成果ですが、河川水質監視調査を27ヶ所、港湾水質監視調査を7ヶ所、地下水水質監視調査を2ヶ所、湖沼水質監視調査を2ヶ所実施して、水質汚濁状況の把握等、市内公害事情の実態把握に努めています。調査結果及び状況は市環境保全対策審議会及び議会に報告し今後、市のホームページでも公表していく予定です。河川の水質調査結果では、浜岡地区はおおむね良好であり、御前崎地区の原前川が過去の調査結果と比較して高い値を示しました。これは原前川自体の水量が少なく、事業所排水の影響によるものと考えられます。

公共用水域の汚濁は、多様な要因が考えられますが、生活雑排水も大きな

要因であり、今後も継続監視調査し、水質汚濁

状況の把握、未然防止に努めていきます。浜岡地区は下水道整備による水質浄化の実績が顕著に表れており、公害対策の面からも、水質浄化を図っていくためには、御前崎地区の下水道整備が重要であります。

岡村 勝 議員

問 放課後児童クラブを18年度はどの様に対応をしてきたか。運営方法を検討された事は



次に、悪臭苦情に対する指導ですが、年間数件の苦情が寄せられています。その都度現地に向き、悪臭の発生源が特定できるものは、原因者に話し口頭注意や施設改善計画書など、書面にて提